

住宅等を増改築される方

1 まず、補助対象であるか確認しましょう。

次のすべてに該当することが必要です。該当するときは、してください。

- 埼玉県内に建築された住宅を増改築します。

【住宅以外の例】

Q&Aをご覧ください。

- 平成29年9月1日以降に工事請負契約を締結しました。
- 平成31年2月28日までに木工事が完了します。
- 埼玉県内に事業所又は営業所がある工務店等が増改築工事します。
- 県産木材の使用量が3立方メートル以上です。

2 申込み及び交付申請の準備をします。

様式1-2「彩の木補助事業補助金申込書兼交付申請書【増改築用】」を作成します。

様式2「建築現場位置図」を作成します。既存の地図を様式に貼る、あるいは別紙として添付しても構いません。

様式3-1「彩の木補助事業補助金木材使用量計算書【計画量】」の作成は、工務店や木材供給業者等に依頼してください。木材供給業者（プレカット工場を含む）が作成した「木拾表」（県産木材、その他の木材の区別を明確にしたもの）の添付に替えていただいても構いません。「計画量」なのでその後の使用量に変更があっても問題ありませんが、補助対象要件を満たしていなければなりません。

3 書類を提出します。

書類を整えて木材協会に郵送又は持参します。

×切：平成31年2月15日（金）必着（予定数に達し次第終了）

4 補助金利用予定者登録通知書がお手元に届きます。

申込書兼交付申請書と必要な関係書類を木材協会に提出すると、2週間前後で木材協会から様式4「平成30年度彩の木補助事業補助金利用予定者登録通知書」がお手元に届きます。

5 木工事完了報告及び補助金請求の準備をします。

木工事完了後2週間以内に、木材協会あて木工事の完了を報告します。使用する様式は、様式6-2「彩の木補助事業補助金木工事完了報告書兼請求書【増改築用】」です。様式は、補助金利用予定者登録通知書をお送りする際に同封します。申込書兼交付申請書に記載された内容に基づき、「1 住宅等の概要」欄は印字されていますのでご確認いただき、してください。変更があるときは、赤字の二重線で抹消のうえ変更後の内容をご記入ください。それ以外の欄には、必要事項を漏れなくご記入くださ

い。

様式3-2「彩の木補助事業補助金木材使用量計算書【実績量】」の作成は、工務店や木材供給業者等に依頼してください。木材供給業者（プレカット工場を含む）が作成した「納品書」（県産木材、その他の木材の区別を明確にしたもの）の添付に替えていただいても構いません。この実績量は、添付書類として必要な「さいたま県産木材販売伝票の写し」に記載されている数量と合致あるいは伝票に記載されている数量以下になります。

6 書類を提出します。

書類を整えて木材協会に郵送又は持参します。

最終〆切：平成31年3月8日（金）必着

7 木材協会の検査員が現地検査を実施します。

木工事完了報告書兼請求書と必要な関係書類を木材協会に提出すると、木材協会でその内容を審査します。審査には通常4週間程度かかります。この間に、現地検査を実施することがあります（木工事完了報告書兼請求書を提出していただく前に実施することもあります）。実施する場合には、あらかじめ検査員から工務店等にご連絡させていただきます。

8 交付決定及び確定通知書がお手元に届き、補助金が交付されます。

審査の結果、補助対象住宅等の要件に適合すると認められると、木材協会から様式8「平成30年度彩の木補助事業補助金交付決定及び確定通知書」がお手元に届きます。それから1週間以内に、交付決定及び確定通知書に記載された交付金額をご指定口座に振り込みます。振込の通知はしませんので、ご指定口座の記帳をするなどしてご確認ください。